

事前評価個表

整理番号	13
------	----

地域（地区）名	かこがわ 加古川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	兵庫県	対象市町村	たんぼし 丹波市ほか21市町
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、兵庫県南東部に位置している。</p> <p>本地区の森林面積は204千ha、対象民有林は197千ha（森林全体の97%）、うちスギ・ヒノキを主体とする人工林は50千ha（人工林率26%）となっており、県平均の人工林率42%よりも低いが、X I 齢級をピークとした構成となっており、適期の森林整備が求められている。特に本地区北部地域においては丹波市（人工林率58%）や多可町（人工林率61%）を中心に森林施業を積極的に取り組んでいる。本地区南部地域は阪神大都市圏に近くレクリエーション的な活用が多いほか、水源涵養、山地災害防止機能、自然環境保全、地球温暖化防止や木材生産等の多面的機能に対する県民の要望は高く、多様化している。</p> <p>しかしながら、林業経営の収益性の悪化等により、間伐等の森林の適正管理が困難となっており、平成26年8月豪雨では本地区北部地域で多数の山地災害が発生するなど、多面的機能の低下が危惧されている。</p> <p>このため、森林整備の基盤となる森林基幹道の整備や森林整備の担い手となる林業事業体の育成と併せて、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため加古川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、本事業において効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,615ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：2,997,063千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.15 (総便益(B) = 26,942,648千円、総費用(C) = 5,229,198千円)</p>
評価結果	<p>必要性：近年の豪雨による山地災害の発生現状から、森林の多面的機能の維持・向上を目的とした間伐等の適切な森林整備の必要性は高い。</p> <p>効率性：費用効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐等の適切な森林整備は、森林の多面的機能の確保及び原木の安定供給につながり、有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

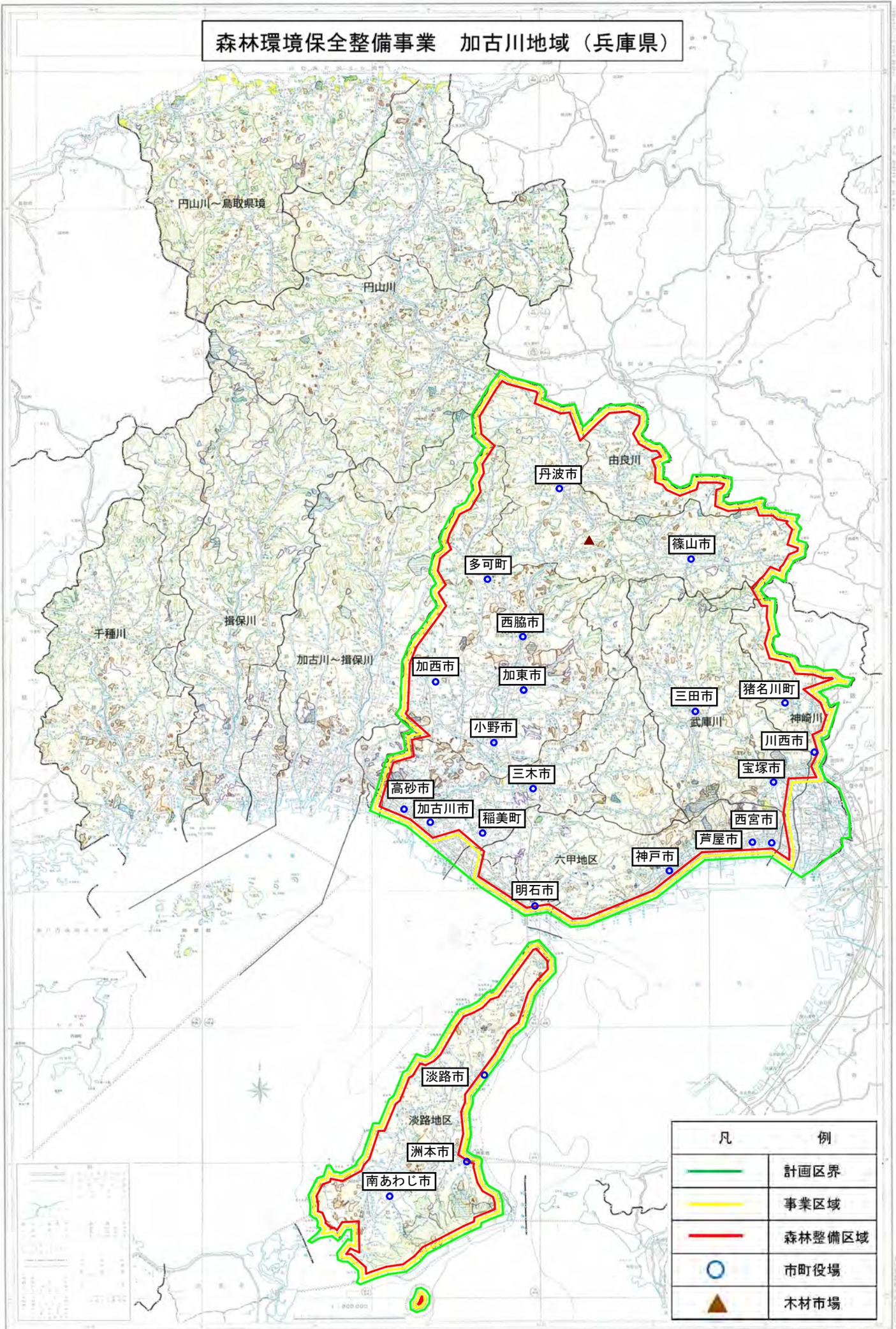
都道府県名:兵庫県

地域(地区)名:加古川^{かこがわ}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,628,025	
	流域貯水便益	1,380,341	
	水質浄化便益	5,223,726	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,019,067	
環境保全便益	炭素固定便益	7,270,971	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,420,518	
総 便 益 (B)		26,942,648	
総 費 用 (C)		5,229,198	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,942,648}{5,229,198} = 5.15$		

森林環境保全整備事業 加古川地域（兵庫県）



凡	例
	計画区界
	事業区域
	森林整備区域
	市町役場
	木材市場